

【労務】DX 支援ガイドンス-デジタル化から始める中堅・中小企業等の伴走支援アプローチ-

経済産業省より、DX 支援の取組みを全国各地で進めている支援機関による好事例を集めた「DX 支援取組み事例集-DX 支援ガイドンス別紙-」が拡充したとお知らせがありました。今回はそのお知らせの内容を以下にご紹介します。

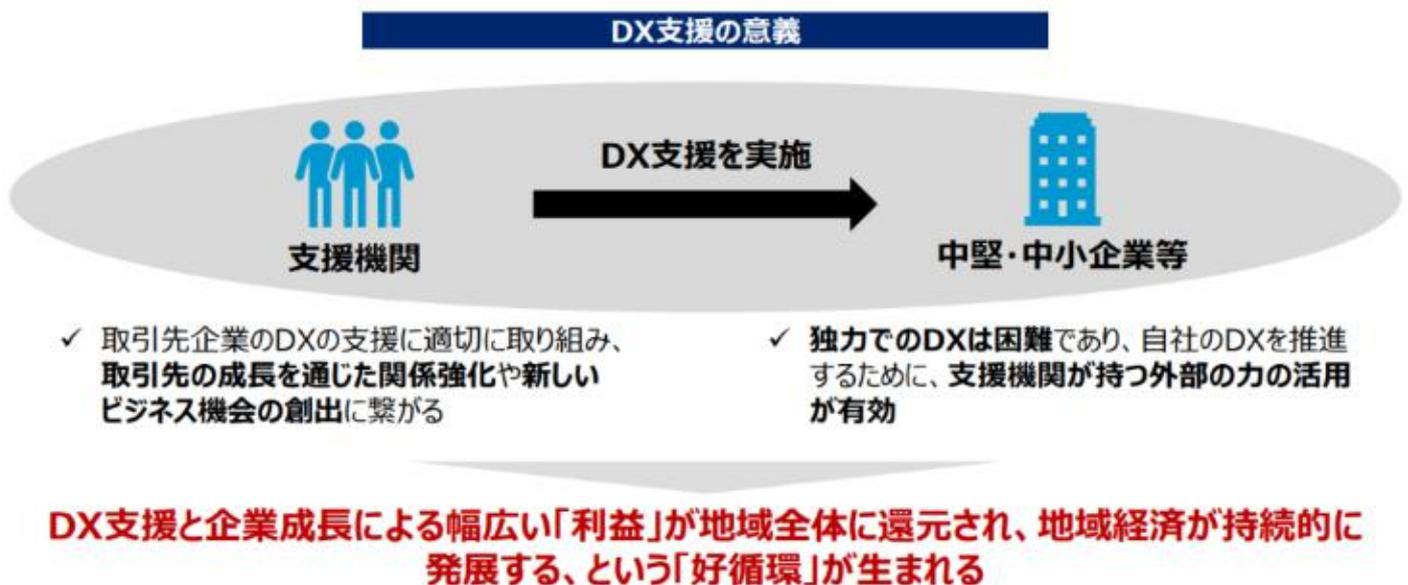
DX 支援ガイドンスとは

背景・目的

DX (デジタルトランスフォーメーション) に取り組んでいる中小企業の労働生産性や売上高は大きく向上しており、労働人口の減少や市場縮小等の課題に直面する全ての中堅・中小企業にとって、DX の取組みは必要不可欠です。一方で、特に人材・情報・資金が不足している中堅・中小企業等は独力で DX を推進することは難しく、地域の伴走役たる支援機関による DX 支援という「新たなアプローチ」を追求することが有効であると考えられます。

こうした背景から、経済産業省では 2023 年 11 月より「支援機関を通じた中堅企業等の DX 支援の在り方に関する検討会」(座長：三谷慶一郎株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所主席研究員グゼクティブ・コンサルタント) を立ち上げ、中堅・中小企業等に対する DX 支援の在り方について、全国各地域において実際に DX 支援に取り組む様々な支援機関のヒアリングも含め、全 10 回にわたって、議論を重ねてきました。

この議論を取りまとめる形で、支援機関が中堅・中小企業等に対して DX 支援を実施する際に考慮すべき事項について解説した「DX 支援ガイドンス」を新たに策定しました。



内容

本ガイドンスは第 1 章「本ガイドンス策定の背景・目的」において、その位置付けを明らかにした上で、第 2 章「企業 DX の考え方及び現状」において、DX の考え方や特に中堅・中小企業等の DX の現状について解説しています。その上で、第 3 章「DX 支援の考え方・方法論」において、DX 支援の重要性や想定される主な支援機関、DX 支援へのコミットメント、DX 支援のアプローチ拡大に向けた考え方、DX 支援の具体的な方法論を中心に考え方を整理し、第 4 章「支援機関同士の連携」において、支援機関同士の連携の意義や考え方を提示しています。また、第 5 章「DX 支援人材の在り方」において、DX 支援人材のマインド・スキルセットや人材育成の考え方を提示しています。

本ガイドンスを通じて、全国各地の支援機関には DX 支援により中堅・中小企業等の企業価値が向上し、支援機関自身にも様々な利益が生まれるとの共通認識が醸成され、「本業支援」としての DX 支援が定着し、地域経済の持続的な発展をけん引していくことが期待されます。

ガイダンス検討の背景・目的と課題

検討の背景

- 今日、簡単に安く使えるデジタルツールが増えているにもかかわらず、大企業に比べて**中小企業のDXは大きな遅れ**
- 実際にDXに取り組んでいる中小企業は、**労働生産性や売上高が大きく向上している**

ガイダンスの目的

- 人材・情報・資金が不足する中堅・中小企業等は独力のDX推進が困難であり、「個社支援」に加え、**地域の伴走役たる支援機関によるDX支援の「新しいアプローチ」を追求**
- DX支援により中堅・中小企業等のDXが加速し、中堅・中小企業等の成長の果実が地域に還元されることによって、**地域全体の持続的な成長を実現**

支援機関が抱える課題

- ✓ 支援機関自身のDXの取組が遅れている
- ✓ 支援機関として有益なDX支援の方法が確立できていない
- ✓ 支援機関内及び支援機関同士の連携が不足している
- ✓ 支援機関内のDX支援人材が不足している

支援機関としての望ましい主な取組

DX支援の考え方・方法論 (第3章)

- 身近なデジタル化から成功体験の繰り返し、最終的にDXを成功させる上でも有益
- 地域の支援機関の中でも特に、**企業の成長を見守る「主治医」として、地域金融機関、地域ITベンダー、地域のコンサルタントの主体的取組に期待**
- DX支援は**中長期的な金銭的・非金銭的な「利益」**が生まれる取組
- 企業経営の負担となっている**間接業務**は、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）のような**共通化・標準化のアプローチ**を積極的に追求

支援機関同士の連携 (第4章)

- 支援先の課題の多様化・複雑化に対応するため支援機関同士の**「連携」**により、「**強み・弱みの相互補完**」、「**情報共有**」を実現
- 「**主治医**」としての役割が期待される支援機関が主体性をもって能動的に連携を追求

DX支援人材の在り方 (第5章)

- DX支援人材には、**変革を導くための「スキル」と土台となる「マインド」**が重要であり、「DXリテラシー標準」と特にDX支援に必要となるマインドから構成
- 人材育成は**座学やケーススタディ・実践・フィールドワークの提供**に加え、**DX支援の評価制度やインセンティブ設計**が重要

DX 支援取組事例集 – DX 支援ガイダンス別冊 – について

中堅・中小企業等へのDX支援に積極的に取り組まれている全国各地の支援機関の皆様の取組事例を整理し、DX支援ガイダンスの別冊事例集をアップデートしました。

本事例集においては、DX支援ガイダンスの内容に則り、「DX支援の取組」「支援機関同士の連携」「DX支援人材」における各支援機関の取組のみならず、実際のDX支援事例や支援機関に向けたメッセージを各支援機関毎に整理しています。実際にDX支援を実施するに当たっての参考としてご活用いただけますと幸いです。

関連リンク

DX 支援取組事例集 – DX 支援ガイダンス別冊 –

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-shien/dx-shienjireishu.pdf

DX 支援ガイダンス – デジタル化から始める中堅・中小企業等の伴走支援アプローチ – (本編)

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/dx/dxshienguidance.pdf

DX 支援ガイダンス – デジタル化から始める中堅・中小企業等の伴走支援アプローチ – (概要版)

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/dx/dxshienguidance_gaiyou.pdf

DX 支援ガイダンス – デジタル化から始める中堅・中小企業等の伴走支援アプローチ – (サマリー)

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/dx/dxshienguidance_summary.pdf